

状況記録写真

設定No. 14-2
(様式6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



平成13年度 76ほ₂下刈実行後 全景
平成13年7月4日撮影

状況記録写真

設定 NO.14-2

(様式6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



ユリノキ



キリ



ミズメ



センダン

平成13年度 76ほ₂下刈実行後

平成13年7月4日撮影

技 術 開 発 実 施 報 告 ・ 計 画

森林技術センター

様式 2

課 題	14-2 暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立（ヤマザクラ等の新たな実証試験林（展示林等）の造成）（その2）					継 続 新 規	担 当	森林技術 センター （業務第1係）	開 発 箇 所	鱒頭国有林 76ほ ₂ 林小班		
	目 的	有用広葉樹（ヤマザクラ・イヌエンジュ等）及び特用樹の広葉樹適地判定育成技術等の人工林施業体系化の確立を目的とし、施業実績や実証データを収集し、暖温帯有用広葉樹等の展示林等として活用する。									開 発 期 間 平成8年度～平成66年度	
年度別実施経過		14年度実施報告					15年度実施計画					
		実 施 内 容	備 考 （評価及び普及指導）			実 施 計 画	1, 下列 2, 生長量調査（樹高・根元径・枝長）					
平成8年度 1, 試験地設定 2, 植付（春植） 3, 樹高・根元径・枝長の測定 4, 試験地標示 5, 施肥 平成9年度 1, 下刈 2, つる切 4, 施肥 3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定） 平成10年度 1, 下刈 2, つる切 4, 施肥 5, 補植 3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定） 平成11年度 1, 下刈 2, つる切 4, 補植 3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定） 平成12年度 1, 下刈 2, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定） 平成13年度 1, 補植 2, 下刈 3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定）		1, 下刈（6月） 面積：1.000 ha 人工数：10.500 人 2, 試験地調査（生長量） 平成14年11月～12月調査（野帳別途保管） 人工数：7.000 人	1, 実施結果 センダン・ヤマザクラは生育良好である。 キリについては、コウモリガの被害が発生し枯損が多い。 ミズメに野兎食害による被害が発生した。 ユリノキに風害による折損・倒木が発生した。 （試験地は風当たりが非常に強い）									
		経 費 科 目					内 訳	物 件 費				
								役 務 費				
								人 件 費	基 職	()人		
									臨 時	人		
								計		()		千円

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

試験経過記録

区分	自主課題
----	------

平成14年度実施内容	平成 年度実施内容
<p>1, 下刈 (6月)</p> <p>面積: 1.00 ha 人工数: 10.500 人 筋 刈: ヤマザクラ・センダン 全 刈: ユリノキ・ミズメ 坪 刈: キリ</p> <p>2, 試験地調査 (生長量)</p> <p>平成14年11月~12月調査 (野帳別途保管) 人工数: 7.000 人</p> <p>考察</p> <p>センダン・ヤマザクラは生育良好である。 キリについては、コウモリガの被害が発生し枯損が多い。 ミズメに野兎食害による被害が発生した。 ユリノキに風害による折損・倒木が発生した。 (試験地は風当たりが非常に強い)</p>	

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

状況記録写真

設定 NO. 14-2

(様式6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



下刈実行前 1/2



下刈実行前 1/2 全景



下刈実行前 1/2



下刈実行前 1/2 全景

平成14年度 76ほ 下刈実行前

状況記録写真

設定 No.14-2
(様式6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



下刈実行後 7/8



下刈実行後 7/8 全景



下刈実行後 7/8



下刈実行後 7/8 全景

平成14年度 76ほ₂ 下刈実行後

設定 No 14-2

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式 6)

